

2025年3月期 第3四半期 決算説明会資料

2025年2月27日



証券コード：4461（東証プライム）
第一工業製薬株式会社

本日のアジェンダ



- 1. 2025年3月期 第3四半期 連結決算** **P.3**
- 2. 2025年3月期 業績見通し** **P.14**
- 3. トピックス** **P.22**

1. 2025年3月期 第3四半期 連結決算

連結 業績の概要（前期比較）



増収増益：電子材料用途の需要が好調を維持し、利益に大きく貢献

(単位：百万円)

	24/3月期 3 Q(4-12月)	25/3月期 3 Q(4-12月)	前期比増減	
			金額	増減率
売上高	45,634	54,271	8,636	18.9%
営業利益	529	3,802	3,272	617.5%
経常利益	556	3,857	3,300	593.0%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	299	1,967	1,667	556.5%

増収  **売上高**：ハイエンドサーバ向け光硬化樹脂材料が大幅に伸長

増益  **営業利益**：売上高伸長による収益性改善

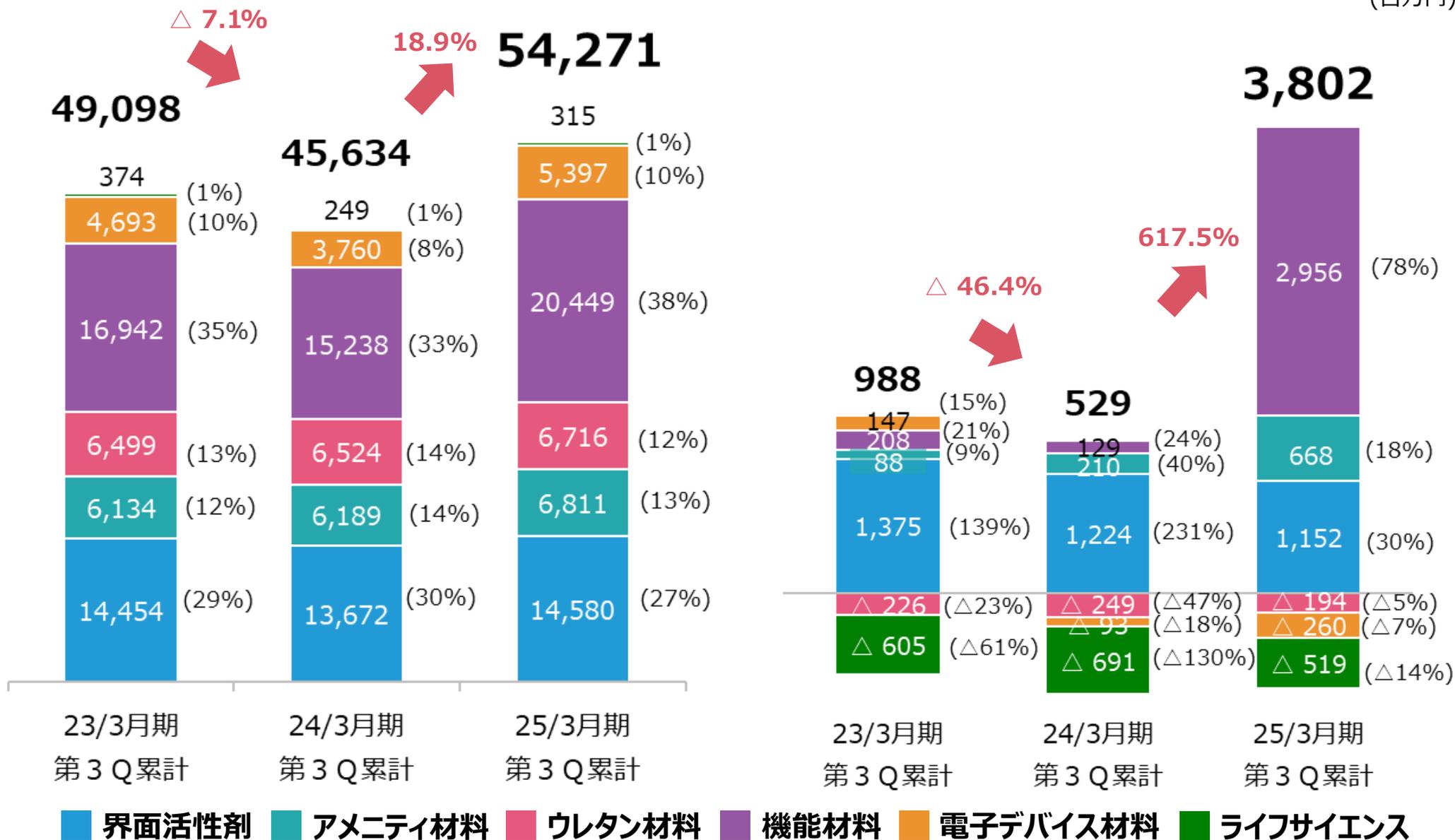
連結 セグメント別構成比の推移



() : 構成比
(百万円)

売上高

営業利益



2025年3月期 第3四半期営業利益増減分析



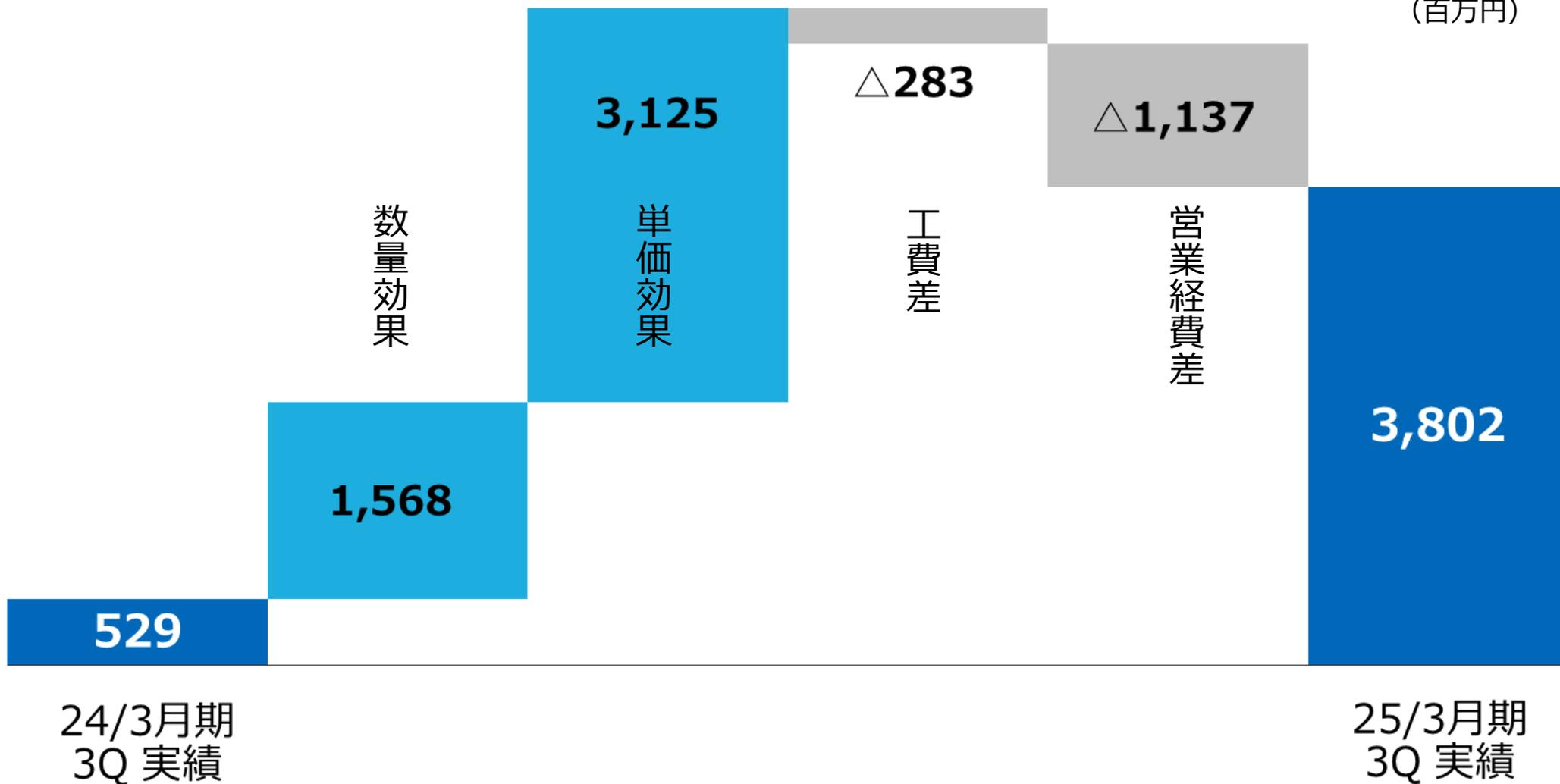
* 主に電子材料用途の
販売量増加

* 電子材料の販売量
増加及び値上げ効果

* 工場稼働率上昇
による経費増加

* 販売活動及び研究
開発費などの経費増加

(百万円)

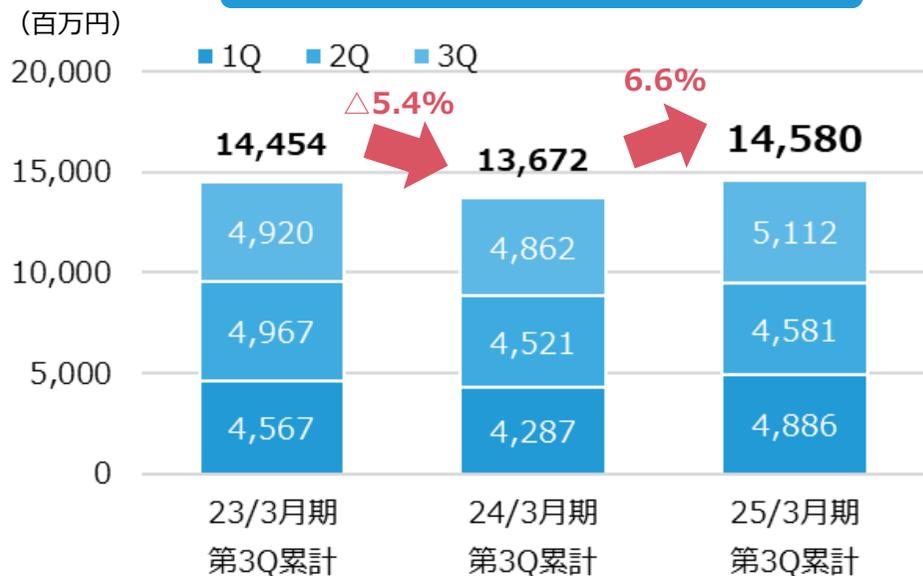




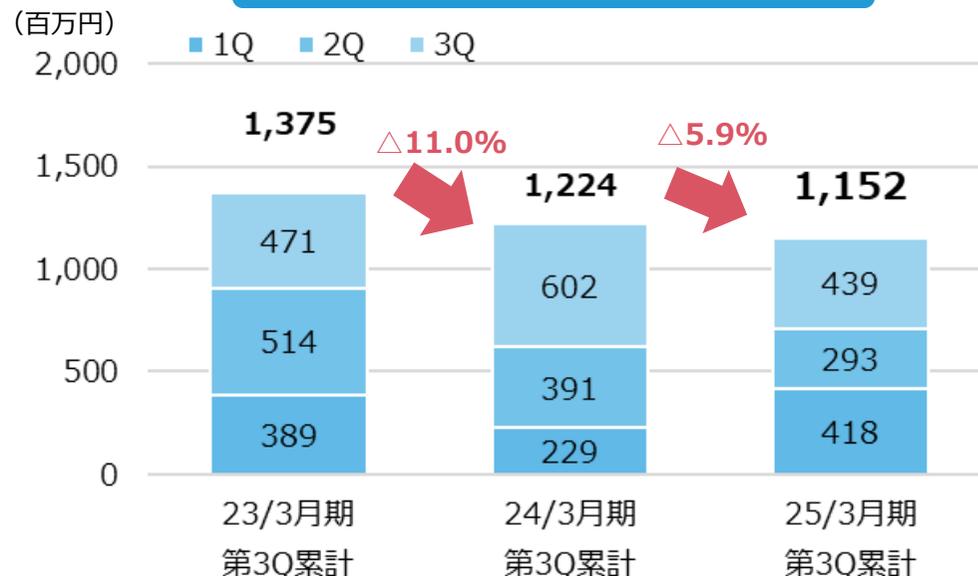
連結 セグメント業績 界面活性剤

1909年の創業以来、高機能界面活性剤を提供している事業です。

売上高



営業利益



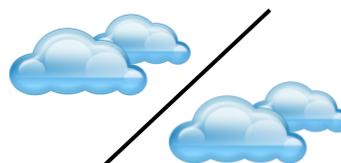
売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料：低調に推移
- 石けん・洗剤用途：大幅に伸長
- 塗料・色材用途：堅調に推移
- ゴム・プラスチック：海外で低調に推移

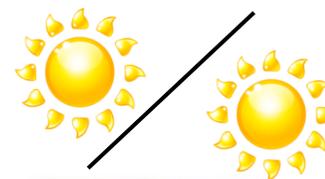
営業利益：減益

- 売上高は堅調に推移
- 営業経費が増加

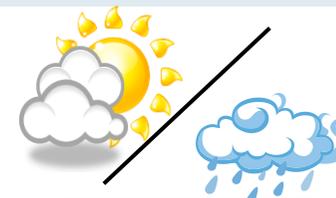
IT・電子材料用途



石けん・洗剤用途



塗料・色材

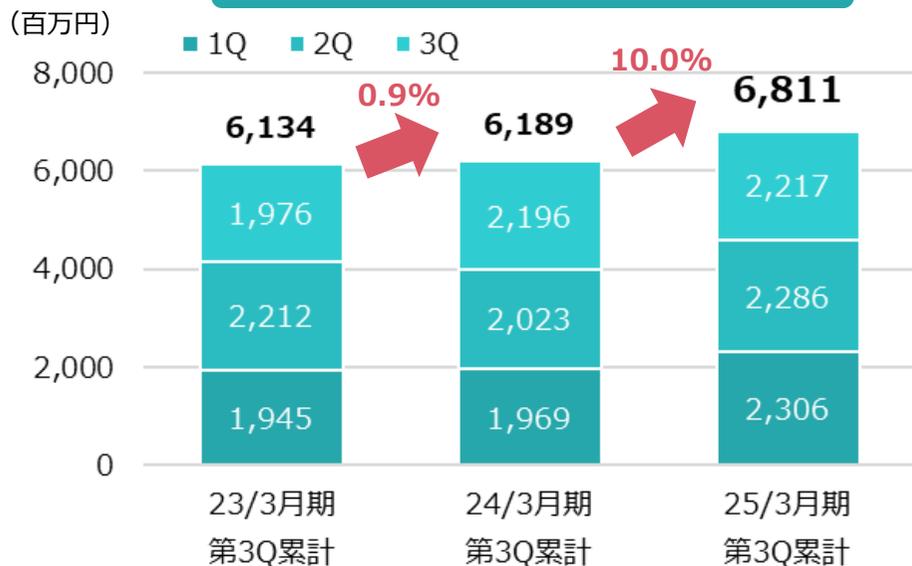




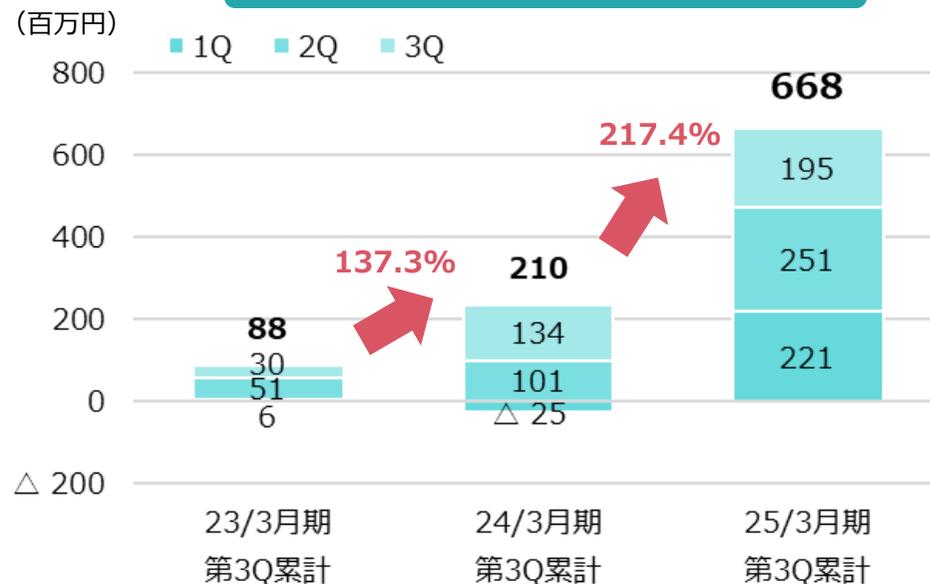
連結 セグメント業績 アメニティ材料

生活環境において快適性を求める材料や周辺応用技術を提供している事業です。

売上高



営業利益



売上高：総じて大幅に伸長

- 化粧品用途: ショ糖脂肪酸エステルは海外で堅調に推移
- 食品用途: ショ糖脂肪酸エステルは海外で大幅に伸長
- ICP[®]-環境用途: セルロース系高分子材料は堅調に推移

営業利益：増益

- 売上高の大幅な伸長

化粧品用途



食品用途



エネルギー用途

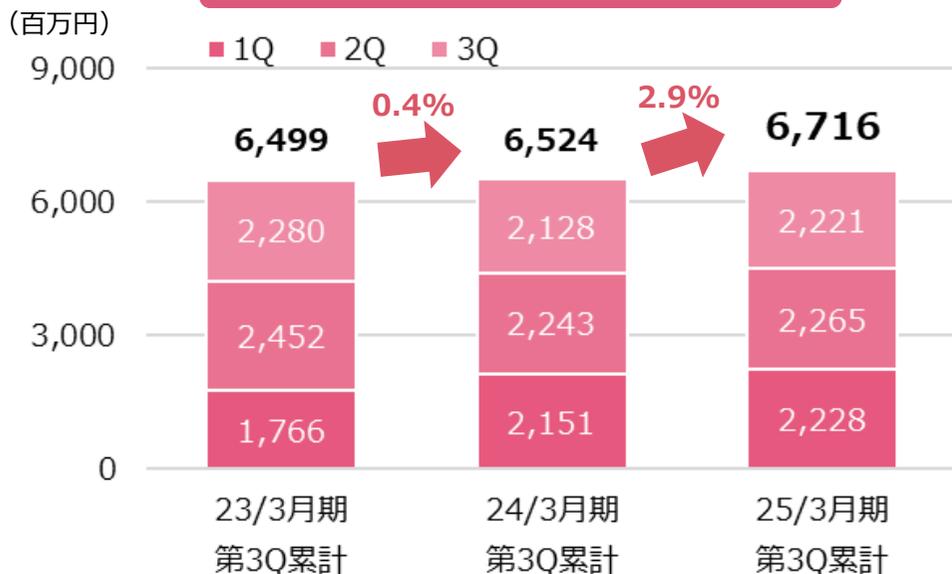




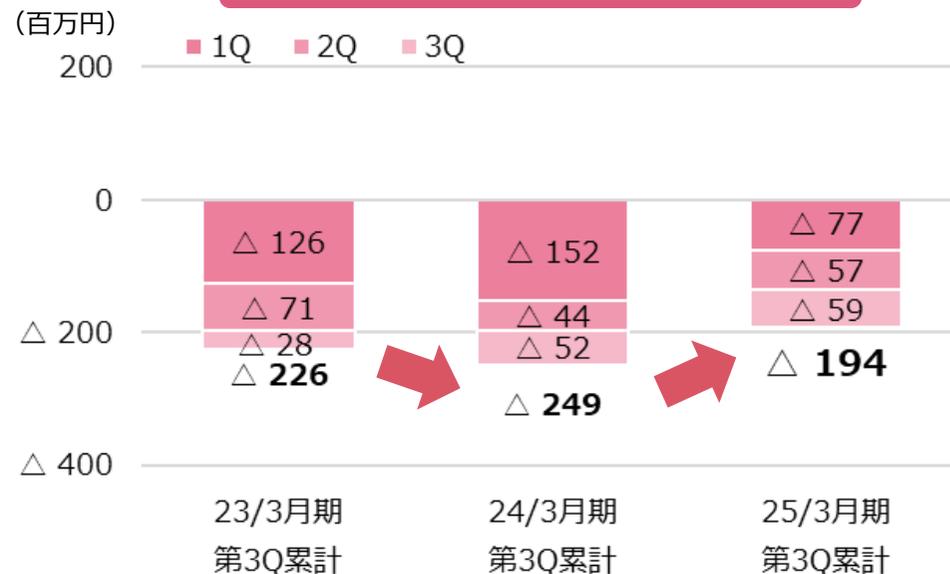
連結 セグメント業績 ウレタン材料

土木・建築材料、塗料、接着剤、電気絶縁材料などウレタン用原料を提供している事業です。

売上高



営業利益



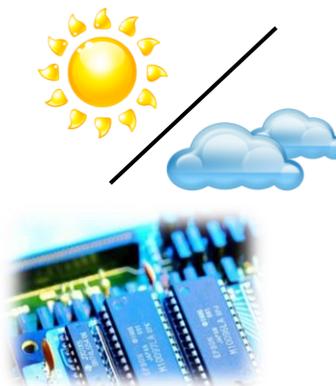
売上高：総じて堅調に推移

- IT・電子材料用途：大幅に伸長
- 土木薬剤用途：大きく落ち込む
- 合成潤滑油：堅調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高増加に伴い赤字幅縮小

IT・電子材料用途



土木用薬剤:岩盤固結



合成潤滑油

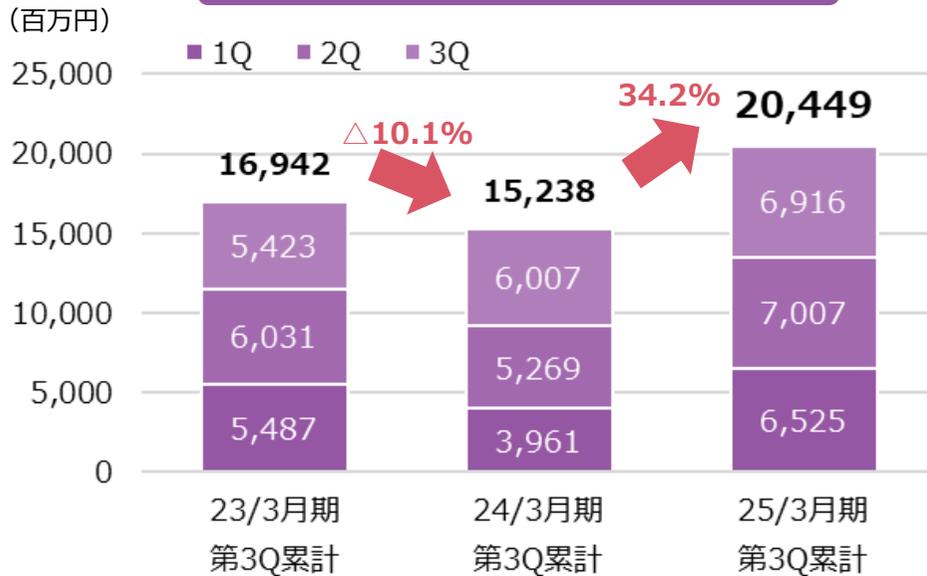




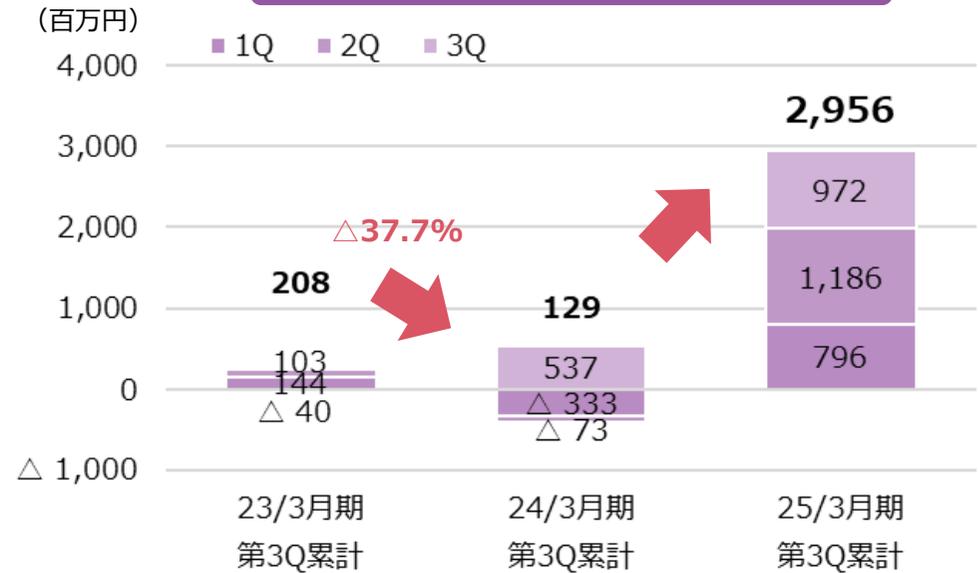
連結 セグメント業績 機能材料

家電製品や生活の必需品用途に、難燃剤、光硬化樹脂や水系ウレタン樹脂などの製品を提供している事業です。

売上高



営業利益



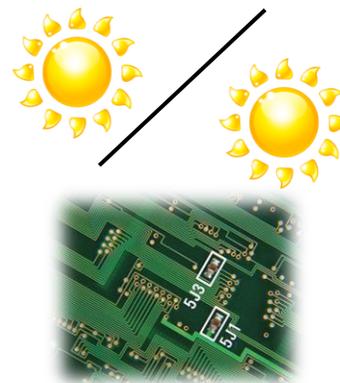
売上高：総じて大幅に伸長

- 電子材料用途：大幅に伸長
- ゴム・プラスチック用途：難燃剤は国内は低調に推移、海外は堅調に推移

営業利益：増益

- 売上高の大幅な伸長

電子材料用途



プラスチック用難燃剤



売上高



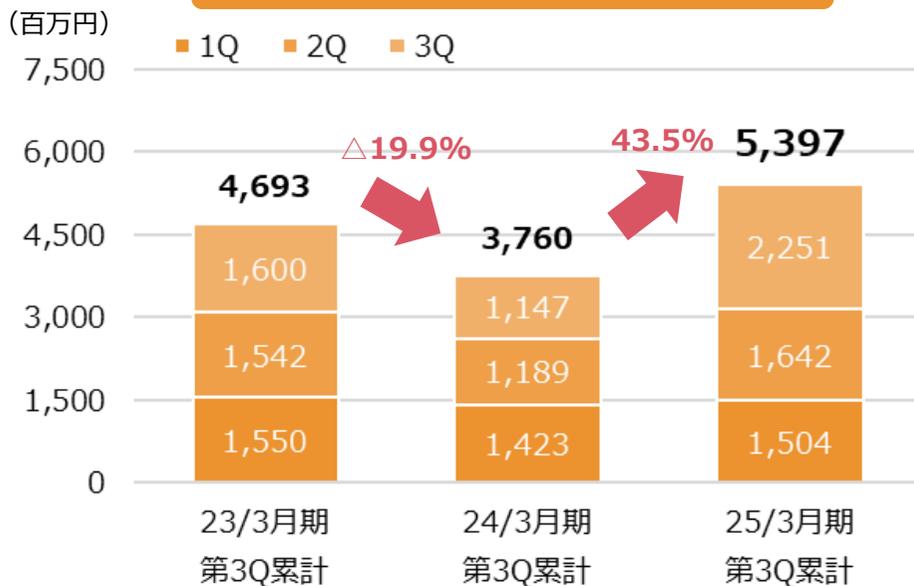
営業利益



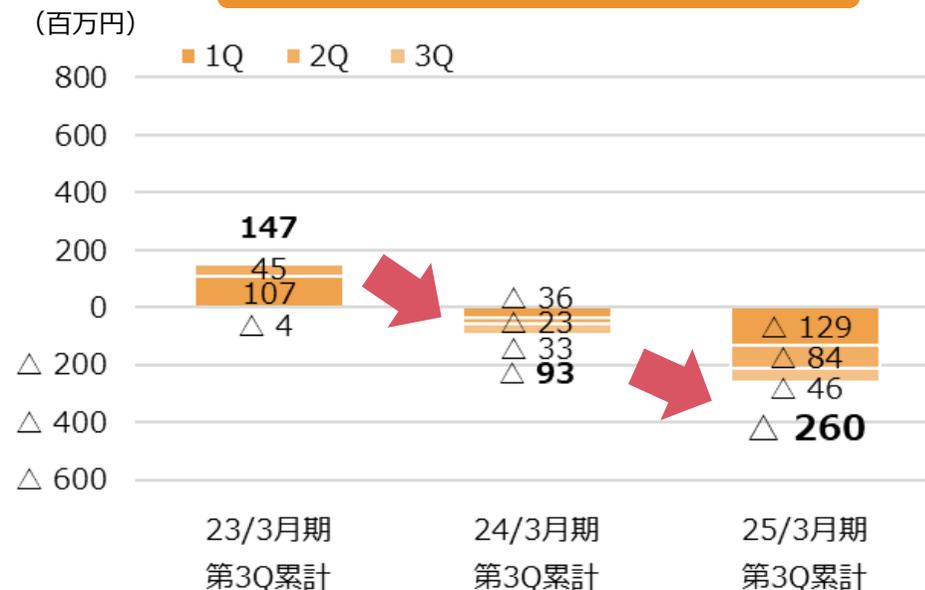
連結 セグメント業績 電子デバイス材料

家電や電子部品用途に、セラミックス材料などを提供している事業です。

売上高



営業利益



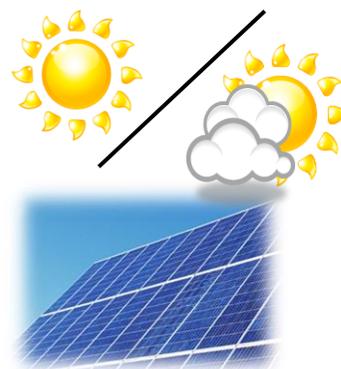
売上高：総じて大幅に伸長

- 太陽電池用途：導電性ペーストは大幅に伸長
- ディ스플레이用途：イオン液体は堅調に推移

営業利益：営業損失

- 売上高は大幅に伸長
- 研究開発費を中心に営業経費が増加

太陽電池用途



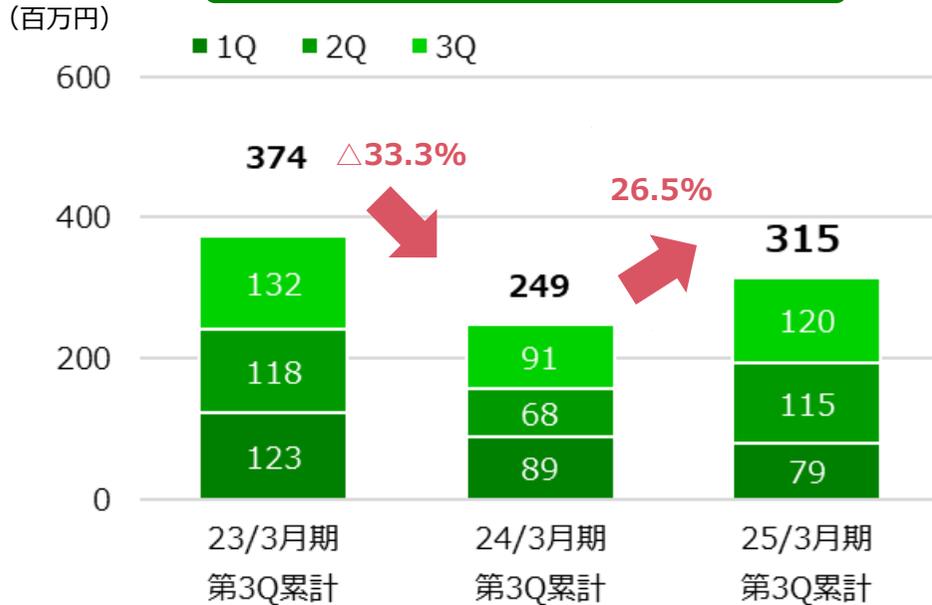
ディスプレイ用途





天然由来の健康食品、天然物からの抽出・濃縮・粉末化の技術を提供している事業です。

売上高



営業利益



売上高：前期と比べ増加

- カイコ冬虫夏草：堅調に推移
- 健康食品等の受託事業：堅調に推移

営業利益：営業損失

- 売上伸長、営業経費減少により赤字幅縮小

冬虫夏草・消臭除菌剤



健康食品等の受託事業



(単位：百万円)

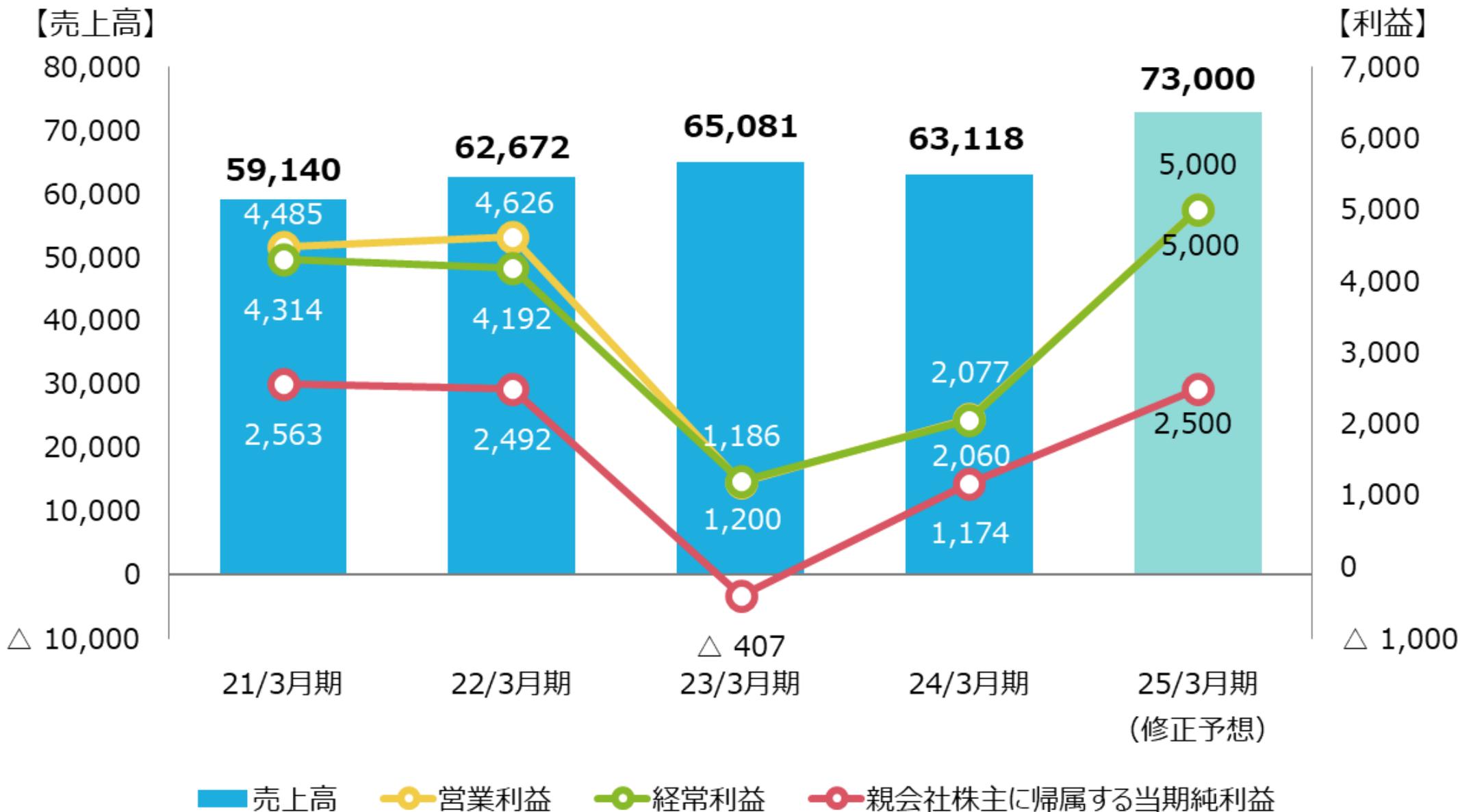
	2024年 3月末	2024年 12月末	増減額		2024年 3月末	2024年 12月末	増減額
流動資産	53,614	54,298	684	流動負債	25,159	27,944	2,785
現預金	16,126	12,687	△ 3,439	仕入債務	12,542	15,311	2,769
売上債権	20,663	24,338	3,675	有利子負債	8,364	7,465	△ 899
棚卸資産	14,141	14,721	580	その他	4,252	5,167	914
その他	2,683	2,551	△ 132	固定負債	28,081	23,530	△ 4,550
固定資産	40,922	40,051	△ 871	有利子負債	26,773	21,882	△ 4,891
有形固定資産	32,467	31,653	△ 813	その他	1,307	1,647	340
無形固定資産	290	261	△ 28	負債合計	53,240	51,474	△ 1,765
投資・その他の資産	8,164	8,135	△ 28	純資産	41,297	42,875	1,578
合計	94,537	94,350	△ 187	負債・純資産合計	94,537	94,350	△ 187

2. 2025年3月期 業績見通し

連結 連結業績推移および予想



(単位：百万円)



連結 当社を取り巻く環境(市況)



分野	状況	2025年 3月期
自動車・二輪	・二輪向けは堅調な需要を維持も四輪向けがペースダウン。	
情報通信	・ハイエンドサーバ向け需要は引き続き強い。	
インフラ (公共工事)	・大型予定物件は堅調に推移するとともに、高利益品復調。	
ディスプレイ	・ハイエンドTVは需要低調 ・PC、タブレットは底打、スマホも底打ち感。 一部在庫調整の影響も解消に向かう。	
家電・住宅建材 (難燃剤)	・需要は引き続き低調。 ・臭素・難燃剤価格は需給以外に原料面からも更に下落継続。	

具体的な対策

- ①新規案件、需要回復への生産対応
- ②営業・研究活動の加速による既存市場の横展開、次世代品の開発
- ③原材料・エネルギー高への継続的な対応（価格転嫁）

連結 セグメント別売上高予想



セグメント 単位：百万円	2024年3月期（実績）					2025年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期	下半期		通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期		通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
		3 Q	4 Q				3 Q （実績）	4 Q （予想）				
界面活性剤	8,809	4,862	4,857	18,529	29	9,467	5,112	5,079	19,660	27	1,130	6
アメニティ材料	3,993	2,196	2,240	8,430	13	4,593	2,217	2,188	9,000	12	569	7
ウレタン材料	4,395	2,128	2,346	8,870	14	4,494	2,221	2,283	9,000	12	129	1
機能材料	9,231	6,007	6,201	21,439	34	13,533	6,916	6,950	27,400	38	5,960	28
電子デバイス材料	2,613	1,147	1,695	5,456	9	3,146	2,251	2,102	7,500	10	2,043	37
ライフサイエンス	157	91	142	392	1	194	120	124	440	1	47	12
合 計	29,200	16,434	17,484	63,118	100	35,431	18,839	18,728	73,000	100	9,881	16

連結 セグメント別営業利益予想

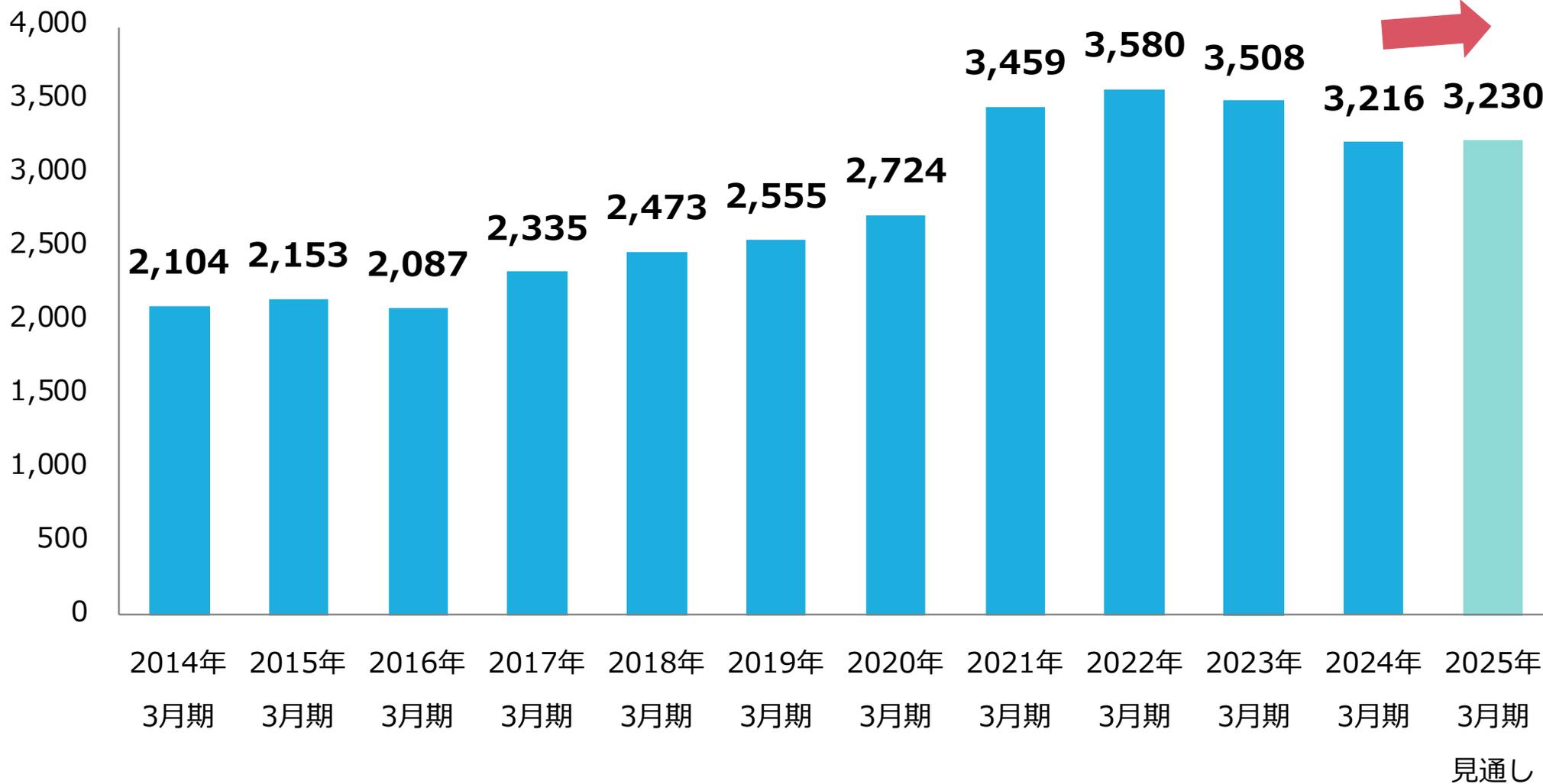


セグメント 単位：百万円	2024年3月期（実績）					2025年3月期（予想）					前期比増減	
	上半期	下半期		通期	構成比 （%）	上半期 （実績）	下半期		通期 （予想）	構成比 （%）	金額	増減率 （%）
		3 Q	4 Q				3 Q （実績）	4 Q （予想）				
界面活性剤	621	602	592	1,816	87	712	439	367	1,520	30	△ 296	△ 16
アメニティ材料	75	134	248	459	22	473	195	131	800	16	340	74
ウレタン材料	△ 196	△ 52	5	△ 243	△ 12	△ 134	△ 59	△ 55	△ 250	△ 5	△ 6	-
機能材料	△ 407	537	873	1,003	48	1,983	972	973	3,930	79	2,926	292
電子デバイス材料	△ 60	△ 33	49	△ 43	△ 2	△ 214	△ 46	△ 49	△ 310	△ 6	△ 266	-
ライフサイエンス	△ 482	△ 208	△ 222	△ 914	△ 44	△ 346	△ 173	△ 170	△ 690	△ 14	224	-
合 計	△ 449	979	1,547	2,077	100	2,474	1,328	1,197	5,000	100	2,922	141

連結 減価償却費の推移



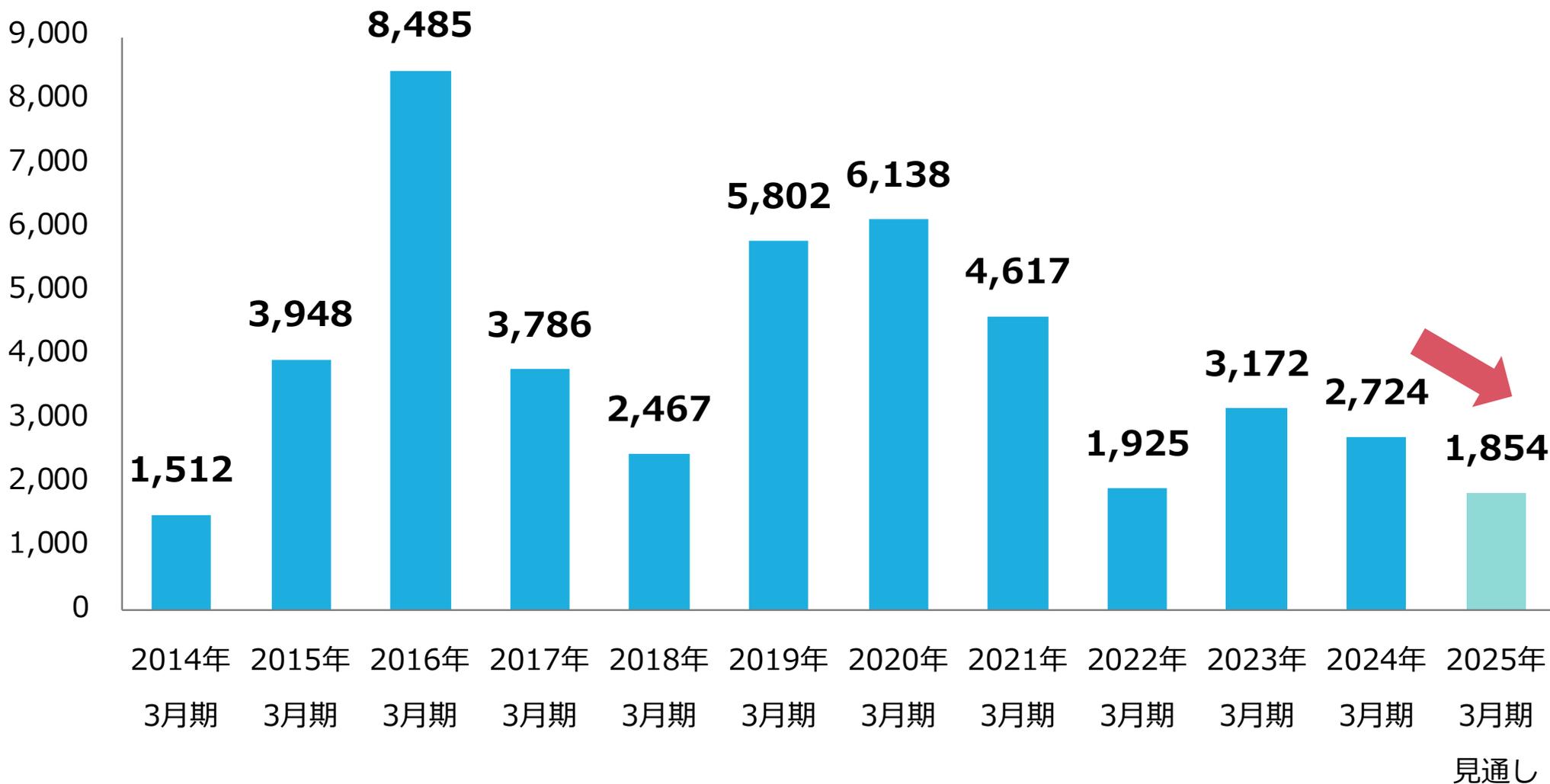
(百万円)



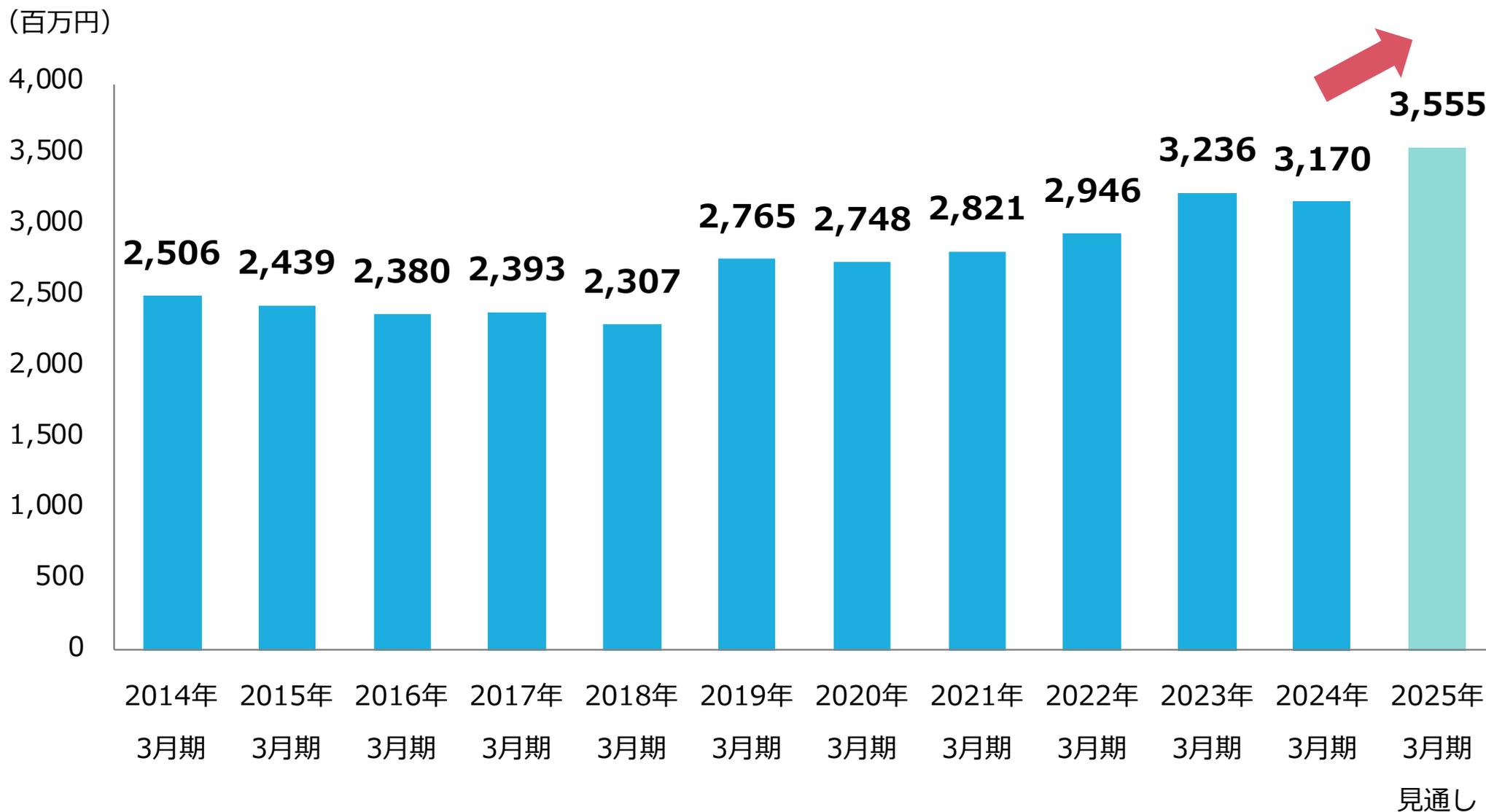
連結 設備投資額の推移



(百万円)



連結 研究開発費の推移



3. トピックス

トピックス

加熱プロセスの削減でカーボンニュートラルへ貢献

常温硬化可能な 2 液混合型熱硬化性ウレタン樹脂を開発！

加熱プロセスを必要としない 2液混合型※1硬化ウレタン樹脂を開発しました。

本開発品は、常温で硬化するウレタン樹脂としては、非常に高いガラス転移温度※2(Tg)と高い曲げ強度を持つことが特長です。

電子・情報、車載や建築関連など、さまざまな分野でカーボンニュートラルに貢献する材料として、2027年採用、2030年に売上高10億円をめざします。

※1 2液混合型ウレタン樹脂:ポリオール成分とイソシアネート成分の2種類の液体を混ぜて作製するウレタン樹脂のこと。

※2 ガラス転移温度(Tg):分子の動きが制限された硬質のガラス状態と、分子が運動しやすい軟質のゴム状態の境目の温度のこと。



着色剤を配合し自作型に流して
常温で硬化させたウレタン樹脂硬化物

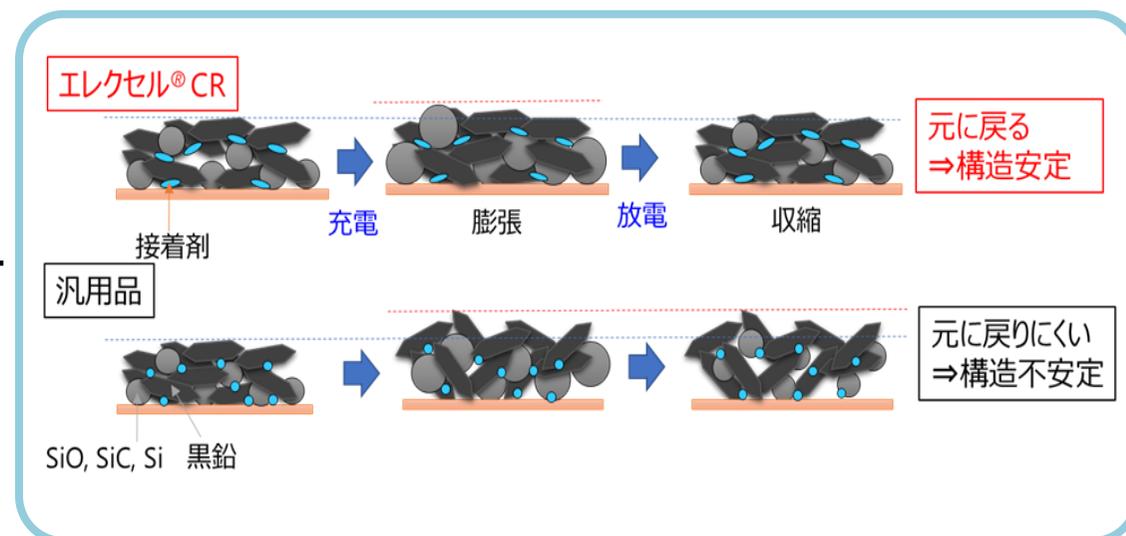
トピックス

電池の長寿命化を実現

Lib負極用水系複合接着剤の生産体制を拡充

高容量リチウムイオン二次電池の負極用水系複合接着剤の生産体制を2024年3月より拡充しました。小型機器やEV分野への事業拡大をめざし、サステナブル社会の実現と環境負荷低減に貢献します。

「エルクセルCRシリーズ」は、シリコン系材料の配合量に拘わらず、安定した寿命特性を示します。汎用品では難しい負極材の膨張収縮に適応する性質をもち、高い構造復元性を発揮します。



【詳細はこちらからも確認いただけます】



充放電における開発品「エルクセルCR」と汎用品の電極の構造変化のイメージ図



第4回サステナブル マテリアル展(幕張メッセ10/29~31)に出展

第4回サステナブル マテリアル展では、当社の4カテゴリー、18アイテムを展示しました。
3日間で800名を超える方が、当社ブースに来場され、活発な意見交換を行いました。

<エネルギー>

- ポリマー電解質<電池性能の安全性向上> ●表面改質剤<電極活物質の表面状態改質>
- 溶剤系ポリイミド<LiB 向け高容量化材料> ●水系バインダー<LiB 用長寿命化・軽量化材料>
- 常温硬化型ウレタン樹脂材料<高 Tg 高強度> ●無溶剤多官能モノマー<低粘度&高硬度>

<天然原料>

- 糖誘導体化合物<バイオベースの樹脂改質剤> ●TRIBIO®<ポリ乳酸の耐熱、耐衝撃性改善>
- セルロースナノファイバー<セラミックスの強度向上> ●セルロース<熱可塑性・難燃性>
- セロオリゴ糖<酵素で作られたナノセルロース> ●水系ウレタン樹脂<バイオマス由来原料>

<ライフ&ヘルスケア>

- DKS においテクノロジー<消臭・脱臭・芳香> ●水系ポリウレタン<生体適合性>

<高機能材料>

- イオン液体<PFAS 規制に対応> ●カーボンナノチューブ分散液<電池材料に添加>
- セルロースナノファイバー磁性粒子<タンパク質捕集> ●反応性界面活性剤<環境負荷低減>



【詳細はこちらからも確認いただけます】



サステナブル マテリアル展
～幕張メッセ～

業績予想・事業計画に関する注意事項



この資料には、当社の現在の計画や業績見通しなどが含まれております。

それら将来の計画や予想数値などは、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。

実際の業績などは、今後のさまざまな条件、要素によりこの計画などとは異なる場合があります、この資料はその実現を確約したり、保証するものではありません。

第一工業製薬株式会社

広報IR部 IRグループ

TEL: 03-3275-0654 E-mail: d-ir@dks-web.co.jp